

講義コード	11C0121000	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	労働経済学2					戎野 淑子		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>人間は、「労働」することによって生活し、それを通じて社会を形成し発展させてきた。労働は、人間にとって基本的かつ重要な営みである。「労働経済学」においては、人々が働き、暮らしていく現実の姿を経済学的視点から焦点を当て、そこに発生する様々な事象や問題を分析し説明するものである。</p> <p>そこで、本講義では、人々の生活に身近で深く関わっている極めて重要な課題を中心に、就業に関わる様々な仕組みやその仕組みの持つ問題について、理論と関連させながら明らかにする。まず、分析枠組みの中心となっている市場の概念を軸に、「労働」という商品の特徴をとらえ、それによって労働に関する基礎的理論を理解する。そして、労働に関する現在の具体的な諸問題を取り上げ、昨今深刻かつ重要な社会問題になっている「雇用」に重点をおいて講義を進めることにしたい。</p> <p>なお、状況により、講義計画を変更・調整することもある。</p>								
到達目標	労働経済学の基礎知識を修得することができ、今日の日本の労働に関する状況や諸問題について、概要を理解することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	復習をすること。(計60時間以上)								
授業計画	<p>【第1回】賃金体系と年功賃金（Ⅰ）：賃金体系と日本における賃金の特徴</p> <p>【第2回】賃金体系と年功賃金（Ⅱ）：賃金の具体的内容（基本給・所定内給与等）</p> <p>【第3回】企業内教育：OJT、off-JTの特徴、実施状況、問題等</p> <p>【第4回】内部労働市場と査定・昇進：内部労働市場の特性、昇進、配置転換・出向など</p> <p>【第5回】定年・退職・解雇：日本社会における解雇や退職に関する制度や慣行</p> <p>【第6回】労働組合の役割と現代の特徴：労働組合の歴史の変遷、現在の状況と問題点</p> <p>【第7回】日本の雇用関係の変容とその背景：日本の経営の変容の具体的内容とその原因</p> <p>【第8回】労働力の流動化：労働移動の種類、特徴、職探しの理論等</p> <p>【第9回】就業形態の多様化：非正規労働者（パートタイマー、派遣社員等）について</p> <p>【第10回】若年層の労働問題：新卒の就職、フリーター、ニート</p> <p>【第11回】女性労働の現状と問題：女性労働力率の推移と変動要因、近年の動向と問題点</p> <p>【第12回】中高年齢者の雇用：中高年齢者の雇用の特徴と現在の問題（リストラ等）</p> <p>【第13回】労働基準法とILO：労働に関する基準及びその基盤となっている法制度</p> <p>【第14回】日本の労働問題（Ⅰ）：規制緩和、外国人労働者</p> <p>【第15回】日本の労働問題（Ⅱ）：近年の諸問題</p>								
成績評価の方法	成績評価の方法 定期試験の結果を中心に評価するが、授業状況も加味する。なお、試験は持ち込み不可とする。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックを次の授業で行う。								
教科書	『労働経済白書』厚生労働省編（日経印刷株式会社）平成27								
指定図書	『人的資源管理の基本』白木三秀編著（文真堂）2015年								
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	水曜日お昼休み								
その他									